



## 百花繚乱の平成30年度に

校長 早川 和男

日に日に暖かさが増し、花の香りがあふれる季節となる中、平成30年度が始まりました。お子様のご入学、そしてご進級おめでとうございます。

本日、第1学期の始業式および入学式を行い、全校児童数381名、各学年2クラスの12学級でスタートを切りました。元気な子どもたちの希望に満ちあふれる表情を見ることができました。

私は今年度、前任の松原修校長先生の後を継ぎ、4月から新たに小平第十三小学校長として赴任いたしました早川和男です。どうぞよろしくお願ひいたします。

仲良く助け合う子ども  
自ら考え行動する子ども  
明るく元気な子ども



上記は十三小の学校教育目標です。各学年の発達段階に合わせたきめ細かい指導を行い、子どもたちが毎日の学校生活に充実感を感じることができるよう、一人一人の健やかな成長を目指して全教職員が一丸となって教育活動に取り組んで参ります。

さて、校長室の窓からは厳しい冬を乗り越え春の訪れを待ち構えていたように輝く様々な植物の“色”が目飛び込んできます。窓の真下には菜の花のまぶしい黄色。校庭一面に広がる芝生の目に優しい緑。その芝生の周りを彩るコントラストを見せる桜の白と八重桜のピンク。体育館前にどっしりと腰を据えているこの学校だよりのタイトルにもなっているたいさんぼくの木の重厚な深緑。そして校庭に戻ってきた元気な子どもたちの十人十色、いや百人百色、三百八十一人三百八十一色！！一人一人の持ち味の“色”がもっともっと輝きを増すように磨きをかけて育てていきたいと思ひます。

ところで、今年度は開校50周年の記念すべき年にあたり、2学期には開校50周年記念式典を予定しております。開校以来の十三小の歴史を振り返り、自分たちが生活する地域を理解するとともに、みんなで50周年をお祝ひする会にしたいと考えています。保護者や地域の方々のご協力を得ながら、共に作り上げる周年行事にしたいと思ひますので、何卒ご協力方よろしくお願ひ申し上げます。

今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。